

## (理念)

暖もりのある笑顔と  
思いやりの心があふれる  
和やかなわが家

## (基本方針)

- 1 温和で笑顔あふれる施設の実現
- 2 その人らしい充実した生活の支援
- 3 地域との共生による福祉の実現
- 4 人間性豊かな、福祉人材の育成
- 5 活力ある経営の実行

## 1 経営基盤の安定化

- ① 中長期計画の策定し、職員への周知を図る
  - ・各事業所の稼働率アップに取り組み、增收へと繋いだ
- ② 法人組織の体制整備
  - ・執行理事として専務理事、常務理事を指名及び職務執行状況等の報告
- ③ 人材の確保
  - ・離職率の多い中、各事業所の適性な職員配置を確保することが出来た
- ④ 経費の削減に努めた
  - ・備品、日用品等の購入に見積もりを徴し、品質、単価等を考慮し購入した
- ⑤ 人事異動
  - ・人事異動を施行し、各事業所の活性化を図った
- ⑥ 人事考課制度の導入
  - ・人事考課を施行し、賞与等に反映した
- ⑦ 食事提供について
  - ・シダックスによる食事提供を解消し、調理員を雇用して法人直営で食事提供する  
栄養士2名、常勤調理員3名、パート調理員8名で食事提供

## 2 人材育成

- ① 人事考課制度による職員育成と人材活用
  - ・適材適所の職員配置を実施した
- ② 自己申告等による職場改善意識の向上
  - ・人事異動
  - ・現在の業務内容
  - ・現在の職場について

# 令和元年度 事業報告書

施設名：ケアハウス暖の里(本館)

計画項目	具体的な内容
施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
施設の基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 温和で笑顔あふれる施設の実現</li> <li>2. その人らしい充実した生活の支援</li> <li>3. 地域との共生によるふくしの実現</li> <li>4. 人間性豊かな福祉人材の育成</li> <li>5. 活力ある経営の実行</li> </ol>
施設の目標	<p>(1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。 来客者の方々に対して、挨拶が出来るようになっている。</p> <p>(2) 生活環境を創る ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「暮らし」そして 「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。 湖南学園吹奏楽部、地域サークル活動からの夏祭りへの参加、湖南学園生わくわく職場体験、児童館での手話教室の開催(毎月1回第3土曜日)、創立20周年式典、湖南地区納涼祭・運動会等に参加して地域交流に努めた。</p>
利用者へのサービス提供	<p>①入居者一人一人の意向を尊重し、介護サービスの実施に心がけるなど総合的な福祉サービスの向上に努めている。 ナースコール対応の頻度が多くなり夜間の介護サービスが増え、居室配膳、通院依頼も増加する等しているが、利用者のニーズに応えるべく頑張っている。</p> <p>②入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和み会」を毎月実施し、入居者からの意見・要望をお聞きし、可能な限り実行することにより、施設で安心して生活が送れるように努めている。 生活面・行事等に要望ご意見が出てくるようになり、意見交換が出来るようになっている。和み会での内容は、掲示板に掲示し、周知を図っている。</p> <p>③余暇活動の推進と健康維持を図るために、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動(カラオケ・園芸・将棋・釣り等)・レクリエーション等を実施する。 カラオケ同好会、大正琴演奏会、抹茶の会等の訪問をして頂き、年間を通じて楽しんで頂けるよう努力した。</p> <p>④体操、グランドゴルフ等を実施し、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 体操は、毎週実施しており、天気の良い日には、施設内散歩をしておられるるグランドゴルフも好評で参加者も増え楽しんでおられます。</p> <p>⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見に対して相談に応じるとともに、適切な助言等を行い心身の安定に努める。 個々の相談事項について、生活相談員が隨時対応し、内容については、職員間で検討し、周知を図っている。</p> <p>⑥施設サービスに対する満足度調査を実施し、サービス向上を図る。 毎年年度末には、施設への満足度調査を利用者・保護者様へ実施しており、結果については、文書で報告している。</p> <p>⑦創立20周年記念式典・祝賀会 9月15日で創立20年を迎えました。記念式典は、10月18日に実施。鳥取市福祉部長、湖南地区自治会長・公民館長において頂きました。式典イベントとしてマグロ解体ショウを行い、全員で新鮮なマグロの寿司を頂き大喜びでした。午後は、西村光司歌謡ショーを開催し昔懐かしい歌謡曲を熱唱して頂き、楽しい式典となりました。</p>
	<p>①調理外部委託から暖の里本館直営(100食調理)にして、新館へ50食を配食する。 12月よりパート調理員を3名お願いし、11名で本館・新館経の食事を賄っている。</p> <p>②食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食、旬の料理等変化に富んだ食事の提供に努めている。</p>

- ・能力開発について
  - ・目標
  - ・仕事・職場への意見、提案
- ③ 資格取得のための研修会への参加
- ・社会福祉士合格 1名
  - ・介護福祉士合格 1名
  - ・手話教室の開催
- ④ 研修実施 別紙資料

### 3 求められる施設づくり

- ① 人材確保の検討を行う
  - ・採用活動の強化
- ② 自己申告等による職員ニーズの把握と職場環境づくりに反映した
- ③ 入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和か会」「談話会」を毎月開催し、情報提供や入居者から提案、意見、要望を聞き、施設運営に活かし、信頼関係を構築した
- ④ 嗜好調査を実施し、献立に反映させた
- ⑤ 毎月給食委員会を開催し、食事内容・要望等を協議し、献立に反映した
- ⑥ 施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービスの質の向上を図る
- ⑦ 余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者のニーズを把握し、趣味活動（カラオケ機器の導入によるカラオケ、園芸、将棋、野菜づくり、釣り等）、レクリエーション等を実施した
- ⑧ インフルエンザ・ノロウイルス、新型コロナウィルス等の感染症防止体制の充実を図る

### 4 地域との連携を図る

- ① 湖南地区広域総合火災避難訓練の開催
- ② 手話教室に地域住民参加
- ③ 納涼祭の開催
- ④ 地域交流バーベキュー
- ⑤ 法人広報紙「だんのさと」年2回発行し、地域、関係機関へ送付
- ⑥ 学生の実習受け入れ
- ⑦ 認知症サポーター養成講座を開催し地域への貢献を図る
- ⑧ こやま包括との連携により地域の社会資源を活用し地域生活を支える
- ⑨ 施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティアの活用、湖南学園、保育園の交流を図り、入居者の生活に潤いをもたらせた
- ⑩ 「防火設備の定期検査」結果を市へ報告

給食(食育)	<p>合同厨房となったため、行事食等の実施日は別々に実施していたが、同 同一日に実施することとなった。</p> <p>③入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに食事が楽しめる雰囲気 作りに配慮する。 栄養士が、利用者さんからの栄養相談を随時受付しており、利用者さんの 個々のニーズに対応している。</p> <p>④嗜好調査を年度末に実施し、翌年の献立に反映させている。 結果については、利用者さんにも報告している。</p> <p>⑤給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。 厨房と本館・新館栄養士とで委員会を毎月実施し調理業務、設備器具 等の検討、利用者3からの要望等を検討している。</p>
衛生管理・環境	<p>①嘱託の寺岡医師との連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化 防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して 生活で頂けるよう努めている。 歯科については、いながき歯科医院に協力依頼している。 早期発見に努め、病院受診や入院など迅速・適切な対応を行う。</p> <p>②インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。 今年度は、昨年よりインフルエンザ感染者が少なかったが、3月末には新型コロナウイルス が全国的にまん延しており、感染防止として面会制限を開始している。 面会時には、体温確認、マスク着用、アルコールでの手指消毒をお願いした。</p>
安全対策・事故防止	<p>①救急法講習会・AED操作講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 12月に本館・新館・デイ・居宅合同(35名)で湖山消防署に救急救命講習会を依頼した。 事故の手当、心肺蘇生方法を学び AED使用方法、異物の除去方法などの実技を学んだ。</p>
保護者・家族 への支援	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 4月・10月に本館諸行事について記載し、法人他事業所の紹介もあり、利用者・ご家族 の方に情報提供を行っている。</p> <p>②入居者の方の近況報告を年2回行い、面会疎遠の方に対しても支援の連携を図る。 ご家族の方が県外の方には、ご本人の近況報告を行い、ご面会をお願いしている。</p>
地域との連携 (地域貢献)	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 施設内活動内容を地域の方に紹介し、理解を得ながら相互交流を図っている。</p> <p>②地域の自治会等と連携し、防災等で協力してゆく。 吉岡分団、湖山消防署等の協力を得ながら自治会・公民館との避難訓練を実施した。</p> <p>③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園と の交流を図り、生活に潤いをもたらせる。 暖の里納涼祭への招待、湖南地区納涼祭・運動会、公民館作品文化祭等へ参加し 相互の交流を図っている。</p> <p>④手話教室を開催し、地域住民の方の参加して頂き交流を図る。 毎月第3土曜日に湖南児童館2階で手話教室を実施している。 地域住民の方の参加が増え、定期的に参加されて来ている。</p> <p>⑤学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 ※地域への貢献として生活困窮者への生活支援の推進を進めていく。</p> <p>⑥創立20周年記念式典 10月18日(金曜日)9時30分から祝賀会式典 来賓に鳥取市福祉部長(祝辞)、湖南地 公民館長(祝辞)、湖南地区自治会長代理にご臨席頂いた。 10時から祝賀会イベント マグロ解体ショウで美味しいマグロ寿司に舌づつみ、14時か 西村光司歌謡ショウで懐かしの歌謡曲に大合唱でした。</p>
経営管理	<p>①入居率100%確保を目指している。 毎月50名以下にならないよう努力している。退所があっても、必ずその月内に利用者を 入所して頂いている。また入所待機者の確保にも努力している。</p> <p>②病院地域連携室、地域包括センター等の定期的訪問と情報交換を図りながら 入居者確保に努める。 病院、地域包括支援センター等との連携を取りながら、待機者の確保に努め、定員減に</p>

## 経営項目

	ならないよう努力した。
施設・整備	<p>①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 施設内の修繕に対して職員で修理するようにして、節約するよう努力している。 業者修繕にしても3社から見積もりをとり、少しでも安価になるよう努めている。</p> <p>②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。 創立20年を迎える設備の老朽化が著しくなってきている。(室内エアコン5台、ロビーLED取替え、居室給水管もれ修理、ボイラー基盤取替え・配管水漏れ修理・循環ポンプ取替)</p>
職員管理	<p>職員研修の推進</p> <p>①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、資質向上を図る 各種研修案内がある中で、関連する研修には参加してもらった。</p> <p>施設内研修で全職員対象に虐待防止研修会を実施した。</p> <p>②職員の資格取得にチャレンジしていく。 介護福祉士の試験に合格し、資格取得している。</p> <p>③職員会で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的開催。 各種委員会は、毎月の職員会で定期的に開催し勉強会を実施している。 また、ヒヤリハット事例について、全職員が毎月問題提起をして検討している。</p> <p>④施設長と職員の意思の疎通を図るため個々に意見交換会を実施する。 職員異動があり、特に職員間の連携を深めるため、ここに話し合いの場を設定している。 今年度も、理事長が全職員との面談をされ、意見等聽かれている。</p>
資金計画	別紙決算書

# 令和元年度 事業報告書

ケアハウス暖の里新館

## 基本理念

暖もりのある笑顔と 思いやりの心があふれる 和やかなわが家

### (1) 運営方針の基本

- 溫和で笑顔あふれる施設の実現
- その人らしい充実した生活の支援
- 地域との共生による福祉の実現
- 人間性豊かな福祉人材の育成
- 活力ある経営の実行

### (2) 入居者の処遇・プライバシーへの配慮

①新館心得として、「笑顔とあいさつ」と「明るく楽しく」を前面に打ち出し接遇研修が実施されたのを受けて、笑顔あふれる施設の実現に努力し、また、保護者や来館の方についても「笑顔」で対応し、電話の受け答え方についても改善されている。

②入居者の生活と人権を擁護するために、プライバシーを尊重し、公平かつ公正な開かれた施設の実現のために、入居者の方からのご意見をお聴きする「だんわ会（毎月第1土曜日）」を実施して、四季に応じた施設の行事や運営等を説明できる場の設定と入居者からの要望・苦情等のご意見を自由に発言できる場を設けている。だんわ会を重ねる毎に入居者の参加も増えており、職員は、意見を聞きだす立場で参加し、質問・要望等についての回答できる部分はその場で行い、検討する問題については後日職員間で話し合い、入居者用「掲示板」に質問・要望内容、回答内容を開示して周知を図っている。

また「すぐやる課」を継続し、修繕、要望意見、相談事に対して速やかに行うよう配慮している。

### ③生きがいのある生活の場としての環境作り

#### ア 穏やかで心豊かに暮らすためのイベントの実施

誕生会には誕生者のテーブルに一輪挿しで生花を置き、潤いのある誕生会にするために、オカリナ・大正琴・職員による歌の演奏会を実施しさやかなプレゼントを贈っている。

さらに「希望外出」を上期（4月～9月）、下期（10月～3月）に分けてショッピング・ドライブ・故郷訪問等希望に応じて、楽しみのある生活の場として外出を実施した。

#### イ 共通の趣味・興味を通して生きがいを見出せる活動の支援の実施。

湖山池湖畔で毎月1回（5月～10月）グランドゴルフ大会を実施し優勝を目指し楽しんでおられ、参加者も増えつつある。また毎週1回本館入居者とカラオケ交流行事として取り組んだ。趣味の手芸で行事等の飾りつけや園芸の協力で玄関前に植物・花を飾って頂いた。

#### ④きめ細やかなサービス提供と自立の推進

身体的、精神的特性に応じた自立のための生活援助及び栄養助言として、ケアマネージャー・ヘルパー・生活相談員・介護職員・栄養士で連携を図り、自立への可能性に向けて生活支援を実施した。食事に関しては、業者委託から法人業務に移行しているが目立った混乱もなく温かい食事の提供に務めている。食生活においても嗜好調査を行い、入居者のニーズに合った献立により食事を提供した。

#### ⑤第三者による施設サービス評価

第三者評価の受審は今後の検討課題であるが、まず入居者の施設利用アンケートを実施し、入居者からの要望・意向に対してのサービス内容の改善を図ったうえ受審したいと考えている。また家族等へのアンケートも実施し要望に応じて対応した。

### (3) 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修の実施。

#### ①職員が楽しく働きやすい環境を作る。

- ア 職員個々のコミュニケーション能力向上を図るための接遇研修を実施した。
- イ 職員の不安軽減を図るため、個別に話し合いの場を設定し、日頃からコミュニケーションが取れるよう不安解消に努めた。

#### ②安全と安心した生活のサービス提供するために、各種委員会（苦情解決・事故対応・虐待及び身体拘束・感染症対策・給食委員会等）等を開催し、職員会で研修報告や事例検討し周知を図った。

#### ③法人の施設長会・管理者・事務担当者会議を開催し、各会議内容について職員に周知し情報共有を図った。

#### ④質の高い福祉サービスを提供を図るため、社会福祉の専門職としての専門知識の習得と技術向上を目的に各種研修に参加し職員会議で復命研修を行う。

#### ⑤昨年同様に基本理念の実現に向けた「法人だんのさと中・長期計画」を策定し、当計画に基づいた単年度計画を策定して取組みを継続実施している。さらに、営業推進会議も開催し、安定した経営基盤を図るため、入居者確保の検討と関係機関との連携を行っている。このことにより、利用申し込みが増加してきている。

### (4) 地域開放、貢献等

地域の方との交流を深め、共に支えあい地域社会の中で積極的な役割を担うため、次の活動を実施した。

#### ①ケアハウス納涼祭に地域住民をご招待

湖南地区自治会、湖南地区公民館、湖南学園、湖南保育園等の参加案内を行い多くの地域住民の方々の参加をいただき交流を深めることができた。

#### ②湖南地区サークル活動グループの参加もあり納涼祭も盛大に地域の方々、利用者も楽しいひとときを過ごすことが出来た。

#### ③地域行事への参加

湖南地区運動会、湖南地区納涼祭、湖南地区文化祭等に参加し、交流を深めた。

★地域交流の一環として、「手話教室」を毎月第三土曜日に湖南児童館との共催で地域住民の参加を得て、地域住民との交流を深め参加者も増えている。  
次年度も引き続き開催を計画している。

(5) 秘密保持（職員及び過去に職員であった者に対する入居者等の秘密保持の徹底）

職務上知り得た個人情報は外部へ漏洩してはならないことであり、「個人情報保護に関する誓約書」を全職員から徴取し、職員に周知を図っている。

(6) 入居者処遇に係る事故発生の対応

職員は日頃から意識して「ヒヤリハット」報告を随時職員間で話し合いを行い  
事故防止対策を図っている。事故発生時には速やかに事故報告を鳥取市に提出している。  
また年3回のリスクマネジメント委員会で報告し法人全体で防止対策を検討している。

(7) 施設の特徴、セールスポイント

- ①入居者の人権を尊重し、心豊かな生活を過ごして頂くために、明るく笑顔を絶やさず、  
思いやり・真心を込めて接する事で、安全で健康的な暮らしが出来るようサポートしている。
- ②清潔できれいな温泉と四季折々の食材を使用したお料理を提供しています。

令和元年度行事一覧

実施月	行事内容
4	4不在者投票 21吉岡温泉花まつり
5	8グランドゴルフ 15赤ちゃん先生 20大正琴 22生け花
6	5ちまき作り 12ホタル観賞 17グランドゴルフ 26生け花
7	3七夕 10グランドゴルフ 17赤ちゃん先生 18不在者投票 26納涼祭
8	7抹茶の会 19生け花 26オカリナ演奏会 28買物外出
9	4グランドゴルフ 13敬老会・大正琴 18赤ちゃん先生
10	7生け花 16抹茶の会 18本館西村光司ショー 21グランドゴルフ（白兎コース） 20獅子舞 27湖南祭り 30避難訓練
11	6・11・13紅葉鑑賞外出 7音楽フェスティバル 20セレクト食・赤ちゃん先生
12	12救急救命訓練 25クリスマス会 27餅つき 31年末大掃除
1	6初詣（宇部神社） 8抹茶の会 14とんど 15赤ちゃん先生 29運動会
2	3節分豆まき 10オカリナ演奏会 19避難訓練
3	3ひな祭り 4抹茶の会 11買物外出
その他	毎日：リハビリ体操 每週火曜日：カラオケ 隔週水曜日：唱歌 毎週水曜日：訪問販売 第2・4木曜日：寺岡往診 第1土曜日だんわ会 毎金曜日：暖喫茶 第3月曜日：誕生会 隔月：演奏会

月別利用状況（毎月 1 日現在）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	利 用 率
男性	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	14	14	158	%
女性	34	33	36	37	37	37	37	37	37	36	36	36	433	%
計	47	46	49	50	50	50	50	50	50	49	50	50	591	98%

利用者年齢状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

	70 歳 未満	70~ 74 歳	75~ 79 歳	80~ 84 歳	85~ 89 歳	90~ 94 歳	95~ 99 歳	100 歳以上	計	平均 年齢
男性	2	2	5	2	2	1	0	0	14	78.4
女性	2	0	2	10	12	8	2	0	36	85.8
計	4	2	7	12	14	9	2	0	50	83.7

利用者介護度状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均 介護度
男性	8	0	4	1	0	1	0	0	要支援 1
女性	4	3	3	13	7	3	3	0	要介護 1
計	12	3	7	14	7	4	3	0	要支援 2

施設内研修

研修日	研修名	研修内容	参加者
4/25	ボランティア担当職員研修	ボランティア受入について	5 名
5/23	事故防止対策研修会	高齢者の事故防止について	6 名
6/25	感染症予防研修会	食中毒を防ぐ	5 名
9/26	ともに生きる福祉セミナー	福祉の父糸賀一雄の足跡について	6 名
9/26	リスク・事故防止委員会	ヒヤリハット報告について	6 名
10/23	認知症研修会	認知症ケアのあり方とやり方	6 名
10/23	感染症予防研修会	ノロウイルスについて	6 名
11/28	感染症予防研修会	感染症予防の基本について	5 名
12/19	メンタルヘルス講習会	職場のメンタルヘルス講習	6 名
12/19	リスクマネジメント研修	誤薬・無外について	6 名
1/22	感染症予防研修会	インフルエンザ予防対策について	6 名
2/19	苦情解決委員会	苦情について	6 名
3/27	虐待防止委員会	高齢者の虐待について	6 名

施設外研修

研修日	研修名	研修内容	参加者
4/23	ボランティア担当職員研修	ボランティア受入について	藤田
6/7	食中毒・感染症研修会	直中毒・感染症発生防止対策	磯江
6/18	不在者投票説明会	参議院議員不在者投票説明会	藤田
6/25	苦情解決研修会	福祉サービス苦情解決事業研修会	鈴木
7/2~3	キャリアパス対応生涯研修課程	キャリアパス初任者コース	福本
8/6	全国経営協都道府県セミナー	令和時代のビジョンを描く	鈴木
8/27~28	安全衛生推進者養成講習	安全衛生講習	藤田
9/19~20	キャリアパス対応生涯研修課程	キャリアパスチームリーダーコース	大下
9/24	介護専門職研修会	コミュニケーションについて	小林
10/8	老人福祉施設職員研修会	老年期における精神疾患の理解	大下
10/24	地域生活定着支援センター協議会	青少年問題の解決に向けて	藤田
11/13	感染防止対策研修	誰が何をするのですか	大下
11/14	老人福祉施設職員研修会	お口の気づかい	磯江
11/26	介護専門職研修会	高齢者と楽しむレクリエーション	岸本
12/6	職場環境改善研修会	聴く力のスキルアップ研修会	藤田
12/17	事例検討会	罪を犯した高齢者支援の事例検討会	藤田

## 1 さとに 暖の里

### (1) 施設の現況及び今後の対応課題等

#### ① 安定経営に向けて。

令和2年3月31日現在 登録者25名に対し23名。令和2年5月中に登録者数は24名になる予定。元年4月スタート時は23名。昨年度同様、こやま包括、日赤要支援の方がご利用できる体制で事業を行った。特徴として、病院の地域連携からの紹介も多くあった。

東里仁地区、世紀団地地区のご利用者ではなく、吉岡を中心に浜坂、賀露、伏野、下味野、行徳、などエリアも拡大してきた。※浜坂と東今在家は理由あり。訪問件数が250件という状況もあり日中、スタッフが拡散することもあり通いの利用者様に対してのケアをどう行うのか課題が出てきている。

#### ② 業務の効率化

29年度より機能訓練を取り入れ実施している。機能訓練を目当てに利用される方も多くサービスの1つとして一定の成果を見せていている。前途でも述べたように利用者様のエリア拡大、業務の多様化に伴い、来年度は業務の整理を進めていくことが必要となってくると思われる。離職率を下げずにスタッフに継続して働いていただく取組みを行う必要が課題として挙げられる。

29年度より記録の電子化を図りケース記録等をパソコンで記録するように行った。スタッフの記録業務の時間帯と担当を明確にすることにより利用者様のケアを行う時間帯を伸ばせたことと記録業務の時間短縮も行えた。

軽自動車2台とハイエース1台で業務をおこなっているが日にち、曜日、時間帯により軽自動車3台の方が効率が良い時もある。

#### ③ スタッフのレベルアップ。

令和元年度も30年度と同様、スタッフの退職、体調不良等がありその日その日の業務を回すことで手いっぱいだった。必要な研修にはなるべく参加ができるよう手配をしていきたい。

資格取得者が少ないという現状もあり取得に向けての面談を行う必要もある。

### (2) 主な行事

※別紙参照

令和元年度 事業報告書 様式

(3) 年度末の利用状況

①入居者（利用者）定員： 25 登録者数： 23

	70歳 未満	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100歳 以上	計	平均 年齢
男性	2	0	1	1	2	1	0	0	6	82.5
女性	1	0	2	5	4	3	2	0	17	84.7
計	3	0	3	6	6	4	2	1	23	83.6

②入居者（利用者）介護度状況

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均 介護度
男性	1	0	0	0	3	2	0	6	3.8
女性	2	2	4	4	4	0	1	17	1.8
計	3	2	4	4	7	2	1	23	2.8

①月別利用状況

ア（さとに 通所）【延べ利用者数】

月	稼働 日数	計	1日 平均	利用 率
4月	30	405	13.5	73
5月	31	410	13.2	73
6月	30	427	14.2	90
7月	31	417	14.5	91
8月	31	451	14.5	91
9月	30	424	14.1	90
10月	31	451	14.5	91
11月	30	433	14.4	90
12月	31	415	13.3	87
1月	31	408	13.1	86
2月	29	368	12.6	78
3月	31	348	11.2	67
計	366	4957	13.5	83.9

令和元年度 事業報告書 様式

イ (さとに 宿泊) 【延べ利用者数】

月	稼働日数	計	1日平均	利用率
4月	30	132	4.4	78
5月	31	138	4.4	78
6月	30	130	4.3	77
7月	31	94	3.0	70
8月	31	110	3.5	75
9月	30	155	5.1	82
10月	31	163	5.2	83
11月	30	160	5.3	83
12月	31	153	4.9	82
1月	31	169	5.4	84
2月	29	162	5.5	85
3月	31	143	4.6	80
計	366	1709	4.6	80

イ (さとに ヘルパー) 【延べ利用時間数】

月	営業日数	件数	1日平均
4月	30	255	8.5
5月	31	250	8.0
6月	30	249	8.3
7月	31	241	7.7
8月	31	260	8.3
9月	30	203	6.7
1月	31	186	6.0
11月	30	166	5.5
1月	31	167	5.3
1月	31	142	4.5
2月	29	188	6.4
3月	31	243	7.8
計	366	2550	8.3

令和元年度 事業報告書

居宅介護支援センター暖の里

令和2年4月24日

①月別利用状況（居宅支援）【延べ利用件数】

月	要支援			要 介 護						計	認定 調査
	1	2	計	1	2	3	4	5	小計		
4月	5	11	16	26	24	9	2	1	62	78	7
5月	7	11	18	27	21	8	3	1	60	78	6
6月	6	11	17	26	21	9	3	1	60	77	7
7月	6	9	15	26	20	9	2	1	58	73	10
8月	6	9	15	26	18	11	2	1	58	73	7
9月	6	8	14	26	21	10	1	1	59	73	11
10月	5	9	14	27	20	10	1	1	59	73	7
11月	5	11	16	27	19	9	1	1	57	73	5
12月	4	9	13	28	23	9	0	2	62	75	12
1月	4	9	13	29	24	9	0	2	64	77	4
2月	4	9	13	30	18	9	0	1	58	71	6
3月	5	10	15	27	20	9	1	1	58	73	4
計	63	116	179	325	249	111	16	14	715	894	86

- 要支援 1に事業対象者含む

(今後の課題)

令和元年度の利用者数の推移は上記の通りである。

地域包括センターとの連携の強化を図り

地域で支える視点でケアマネジメントの質の向上に努めたい。

# 令和元年度事業報告書

デイサービスセンター暖の里

## 基本理念

- ・暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家

## 基本方針

- ・温和で笑顔あふれる施設の実現
- ・その人らしい充実した生活の支援
- ・地域との共生による福祉の実現
- ・人間性豊かな福祉人材の育成
- ・活力ある経営の実行

### ① 利用者の状況（令和元年度）

\*利用状況は前年度と比較しても大きく変化はみられない。

\*総利用者数も30年度、元年と2年間にわたり横ばいである。

\*利用状況は前年度と比較しても大きく変化はみられない。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者登録数	22	22	22	21	19	21	23	22	23	21	21	22
総数	179	205	177	195	178	183	218	192	213	168	174	197
%	81.3	89.1	88.5	84.7	80.9	87.1	94.7	91.4	96.8	84	87	89.5
支援1	1人	2人	2人	2人	1人	3人	4人	2人	2人	2人	2人	2人
介護1	8人	9人	9人	8人	8人	8人	10人	11人	9人	8人	8人	8人
介護2	8人	7人	7人	6人	5人	5人	7人	5人	7人	6人	6人	7人
介護3	5人	4人	4人	5人	5人	5人	2人	4人	5人	5人	5人	5人

### ② 行事一覧

\*毎月簡単なおやつ作りを実施し職員と一緒に楽しんで頂いています。

年間を通じ天候など考慮し外出の機会を持つようにしました。

\*日々のサービス

毎月の展示物の作成
季節の塗り絵
言葉探しクイズ
カレンダー作成
計算問題
月の歌
カラオケ

リハビリ体操
下肢体操
リズム体操
北国の春体操
タオル体操
レクレーション

実施月	・誕生会は毎月お祝いをする。(プレゼントを用意)
4	・花見ドライブ(4/1~4/5) ・赤ちゃん先生参加 ・おやつ作り(パフェ)
5	・鳥取道ドライブ(5/13~4/5) ・おやつ作り
6	・あじさいドライブ (6/24~6/28) ・ちまき作り ・おやつ作り (アイスクリーム)
7	・七夕祭り (7/1~7/4) ・おやつ作り (フルーチェ)
8	・納涼祭 ・おやつ作り (クリームソーダ)
9	・お月見会 (9/2~9/6) ・おやつ作り (月見団子)
10	・ドライブ (10/1~10/11) ・おやつ作り (たこ焼き・おはぎ)
11	・もみじドライブ (11/4~11/8) ・おやつ作り (干し柿)
12	・クリスマス (12/23~12/27) ・おやつ作り (ケーキ)
1	・初詣 (1/7~1/10) ・初釜 ・おやつ作り (おはぎ)
2	・豆まき (2/3~2/6) ・バレンタイン ・おやつ作り (ホットケーキ)
3	・花見ドライブ中止 ・おやつ作り (ケーキ)

### ③職員研修の取り組み

#### 施設内研修

月1回の職員会議の実施において、情報の共有・確認を行い常に利用者様に寄り添う支援が行えるように計画的に研修を実施した。

運営推進会議は9月、3月(書面での会議)に開催しました。

月日	研修名	研修・内容	参加人数	
4月18日	デイ職員会議	5月の計画・状況報告・研修について	全員	8名
5月16日	デイ職員会議	6月の計画・状況報告・研修について	全員	8名
6月20日	デイ職員会議	7月の計画・状況報告・熱中症について	全員	6名
7月18日	デイ職員会議	8月納涼祭の話し合い・状況報告	全員	6名
8月22日	デイ職員会議	9月の計画・状況報告・研修について	全員	5名
9月11日	デイ職員会議	10月の計画・状況報告・研修について	全員	6名
9月26日	運営推進会議	地域密着型推進会議		9名
10月21日	デイ職員会議	11月の計画・状況報告・研修について	全員	8名
11月18日	デイ職員会議	12月の計画・状況報告・研修について	全員	8名
12月16日	デイ職員会議	1月の計画・状況報告・研修について	全員	8名
1月20日	デイ職員会議	2月の計画・状況報告・研修について	全員	7名
2月17日	デイ職員会議	3月の計画・状況報告・研修について	全員	7名
3月16日	デイ職員会議	4月の計画・状況報告・研修について	全員	8名

#### 施設外研修

月日	研修名	研修・内容	参加人数	
9月19日	職員キャリアパス	キャリアパス対応生涯研修課程	岡田	1名
9月20日	職員キャリアパス	キャリアパス対応生涯研修課程	岡田	1名

## まとめ

- ※
  - ・笑顔で出迎え元気よく挨拶をして利用者様を迎えることを心掛ける。
  - ・利用日を一日楽しく過ごして頂けるように声を聴きながら一緒に取り組む。
  - ・職員同士意見交換を図りながら、利用者様に満足して頂けるデイサービスを目指して努力していきたい。
  - ・昨年の反省も含めて、なかなか参加できなかった外部研修受講に取り組みスキルアップに繋げる。
  - ・10名達成に努力します。（外部への営業、本館、新館での新規獲得）

令和元年 事業報告

ホームヘルプステーション暖の里

1) 月別利用状況

①延べ利用時間、件数

月	日数	訪問介護		総合事業		合計	
		件数	時間	件数	時間	件数	時間
4月	30	806	698	111	107	917	805
5月	31	812	700	110	107	805	807
6月	30	808	686	115	112	923	798
7月	31	903	758	117	114	1020	872
8月	31	899	751	119	116	1018	867
9月	30	804	684	101	98	905	782
10月	31	811	688	90	87	901	775
11月	30	809	680	99	96	908	776
12月	31	782	648	108	105	890	753
1月	31	760	658	102	99	862	757
2月	29	788	657	102	99	890	756
3月	31	1007	841	132	129	1139	970
合計	366	9989	8449	1306	1269	11295	9718

まとめ

9月～2月ケアハウス暖の里に居住の方の入院等が多く 長期化した為、かなりの減収となった。

外部利用者も少しずつではあるが、増加している。援助内容も以前は掃除 排泄介助が多かつ

たが、入浴 食事作り等が多くなり、職員も情報共有を心がけ、日々研鑽しています。

本年度満足度調査の結果で満足度が低い部分は少なかったが、気づかないで行っている事等

反省する項目もあり職員会議だけでなく、日々話し合いを行い気づき力を職員がア・レベルアップ

する事が課題として残りました。